

奥村のり子の
読者ニュース

2017年12月3日 第291号
——奥村のり子生活相談所——
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11
☎ & FAX 073-427-7121
Eメール wjcpken@naxnet.or.jp



久しぶりにリフレッシュの機会
同窓会で思う存分気ばらし

毎日めまぐるしく日が過ぎ、あつという間に12月議会を迎えてしまいました。さまざまな行事の間にほっと一息できる機会がありました。看護学校の同窓会で小豆島へ1泊2日で行って参りました。毎年お誘いいただいていたながら参加できていませんでした。写真はトトロが出てきそうなバス停をバックに撮ったものです。

神戸から小豆島の坂手港まで約3時間、行きから帰りま

でとしゃべりっぱなしです。宿泊地や移動の車のなか、食事中もにぎやかで大変なものでした。船の発着場の坂手は『二十四の瞳』の著者壺井栄さんが生まれ育ったところです。文学館にも立ち寄りましたが、時間の制約で充分観ることができず残念でした。移動途中には日本共産党のポスターも見かけました。寒霞溪や四方指しなどで一足早い紅葉を堪能することもでき、本当に楽しい時間を過ごせ、リフレッシュできました。

みなさんと一緒に新し



い年を気持ちよく迎えるために、今年の締めくくりの12月はさまざまな課題の前進に力を尽くして参ります。
(奥村のり子)

これでわかる森友問題の真相
宮本岳志議員の予算委質疑

総選挙後の国会はアベ首相の所信表明演説に対し共産党は21日衆院で志位委員長、22日に山下副委員長が参院で代表質問に立ちました。二人は国政私物化、北朝鮮問題、くらしと経済、沖縄、憲法、原発など山積する重要問題で質問。どの問題でもアベ首相は「逃げ」と「居直り」で質問にまともに答えず論も根拠も示さず「指摘は全くあたりません」と繰り返す。憲法9条に自衛隊を明記すれば9条2項（戦力不保持）が空文化＝死文化すると質しても「指摘は…」と繰り返すあり様。「丁寧」「謙虚」はみじんもなくその意味が分かっているのか疑いたくなります。

28日の衆院予算委員会でも共産党宮本岳志氏の質問をテレビ中継で視聴。「これぞ森友問題の真実がわかる」ほど実にすばらしいものでした。

国有地を8億2千万円も値引きして森友学園に売却した妥当性について会計検査院は「適切とは認められない」と報告。国有地の地中に大量のゴミがあるというストーリーで口裏合わせの音声データも発覚し、宮本議員が細かく指摘。その裏には森友学園の籠池夫妻がアベ氏の妻昭恵氏を森友学園の小学校の名誉校長に据え、昭恵氏付の政府職員などの暗躍もあり値引きが実現したのです。関係者の証人喚問なしでは済まされません。詳しくは党中央HPのムービーや次号日曜版も掲載するでしょう。ご覧下さい。(編集室)

のり子の週刊日誌(主なもの)

- 12月1日 定例議会開会
- 2日 花を観る県民のつどい
- 3日 ゆうあいスポーツフェスタ、会議
- 4日 河西事務所無料生活相談、議案調査
- 5日 議案調査、質問準備
- 6日 チャレンジド感謝状授与式、質問準備
- 7日 メガソーラー住民の会
- 市駅前無料生活相談、質問準備

保育シンポジウム

この間、読者のみなさんにも連日お伝えしてきた、田村智子参議院議員を迎えての「和歌山市の保育を考えるシンポジウム」(11月23日)は、たくさんの方の参加と、小さな子どもたちの声が会場に聞こえるあたたかいシンポジウムとなりました。

和歌山市は、2015年から始まった「子ども・子育て支援新制度」に伴い「認定こども園整備計画」をすすめています。いまある公立保育所(21カ所)と公立幼稚園(13カ所)を統合し、16カ所の認定子ども園にする計画です。私たちが今年3月から行ったアンケートには、公立園がどんどん減らされていくことへの不安の声が寄せられました。田村議員の

公立園の縮小に不安の声、公的責任で整備こそ

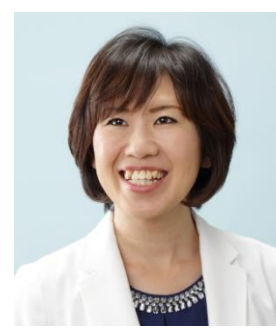


保育を考えるシンポジウム

話でも「国が安上がりの保育を進めている」とありましたが、「子どもの育ちの場」としての保育所を公的責任でしっかり整備してほしいと思います。

シンポジウムのあと、子育て中のママパパとの懇談会も行い、保育内容や保育料金など、普段感じていた心配事や、疑問など率直に出し合いました。「おかしいな」と思うことをそのままにせず、実態を市に上げていくことの大切さも確認しました。子どもたちにとって本当に良い保育とはどういうものなのか、こういう風に話し合う場所をもっと作っていききたいと思います。

党県常任委員
坂口多美子



(和歌山市議予定候補)